

取扱説明書

WHG-AC433US キットインストールツール

本ツールでできること

設定ファイルを編集後、本製品を挿して exe ファイルを実行するだけで、「ドライバーのインストール」と「アクセスポイントとの接続」を設定できます。

大量導入時に、各パソコンに同じ設定を反映できて便利です。

必要な作業

Step1 パソコンの OS にあうパッケージの作成

Step2 環境にあうようにパッケージを編集 (ini, xml)

Step3 編集したパッケージをパソコンにコピーして実行

※ 本製品をパソコンに挿す必要があります。

※ 他の本製品をパソコンに挿す場合は、Step3 をもう一度実行します。

Step1 パッケージを作成する

1 添付のサポートソフトCD-ROMをセット

CD-ROMドライブがない場合はダウンロードして実行してください
<http://www.iodata.jp/p/144610>

2 サポートソフト内の「makeinstallpkg.bat」を実行する

3 作るパッケージの番号を入力し、[Enter]を押す
⇒ マイドキュメントに「WHGAC433US」フォルダーを作り、フォルダーを開きます。

```
+-----+
+ WHG-AC433US install package maker          +
+ (C) I-O DATA DEVICE, INC.                  +
+-----+
+ 0.対応OS全て用パッケージの作成             +
+ 1.Windows 7 32ビット用パッケージの作成     +
+ 2.Windows 7 64ビット用パッケージの作成     +
+ 3.Windows 8 32ビット用パッケージの作成     +
+ 4.Windows 8 64ビット用パッケージの作成     +
+ 5.Windows 8.1 32ビット用パッケージの作成   +
+ 6.Windows 8.1 64ビット用パッケージの作成   +
+ 7.Windows 10 32ビット用パッケージの作成    +
+ 8.Windows 10 64ビット用パッケージの作成    +
+-----+
+ 0~8を押して、作成したいパッケージを選択してください。 >> |
```

以上でパッケージを作成できました。

次はパッケージを編集します。

右記「Step2 パッケージを編集する」へお進みください。

Step2 パッケージを編集する

1 「IOOCI.INI」を編集する

IOOCI.INI の場所

▼32ビット版 OS 用パッケージ

WHGAC433US→INSTPKG→X32→IOOCI.INI

▼64ビット版 OS 用パッケージ

WHGAC433US→INSTPKG→X64→IOOCI.INI

■必ず変更してください

[MAIN]の REBOOTの値を1から0に変更します。

```
APPL14="WIN7_04BIT"
APPL15="WIN10_64BIT"
;APPL16="WLANCFG"
TRACEDIR="I-ODATA\WHGAC433US"
REBOOT=1
DELETE=1
DRIVERINSTALL=1
NOTCOPYMODE=1
```

REBOOT=0にする。

■インストール時に画面を表示しないようにする場合

[MAIN]の SILENTINSTの値を1から0に変更します。

```
OTHERINI="
SPLINK="..\MANUAL\ONLINE\top.htm"
INSTALLCOMMENT1="セットアップ準備中です。[WHG-AC433US]のセッ
INSTALLCOMMENT2="そのまましばらくお待ちください。"
SILENTINST=1
CHKOSFLUG=1
CHKWIN95=0
CHKWIN98=0
FILEWIN98=0
```

インストール時に画面を表示しないようにする場合は、

SILENTINST=0にする。

■無線LANプロファイルを設定する場合

[MAIN]の APPLICATIONCOUNT の値を1足した値に変更します。

また、[MAIN]の ;APPLI*="WLANCFG" と記載されている項目の「;」を削除します。

※ APPLI*の「*」には、パッケージにより異なる数字が入ります。

```
[MAIN]
APPLICATIONCOUNT=5
APPLI1="TCP/IP"
APPLI2="WIN7_64BIT"
APPLI3="WIN8_64BIT"
APPLI4="WIN8T_64BIT"
APPLI5="WIN10_64BIT"
;APPLI6="WLANCFG"
TRACEDIR="I-ODATA\WHGAC433US"
REBOOT=1
```

APPLICATIONCOUNT の値を1つ増やす。(画面例なら6にする)

一番最後のAPPLI* の先頭に付いている「;」を削除する。

(画面例ならAPPLI6のを削除)

続きは次ページをご覧ください。

Step2 パッケージを編集する(つづき)

- 2 無線LANプロファイルを設定する場合は、さらに「wlancfg.xml」を編集する

wlancfg.xml の場所

WHGAC433US→INSTPKG→WLANCFG→wlancfg.xml

name	プロファイル名
SSIDConfig	
SSID	
hex	SSID の16進数の値
name	SSID のASCII コード
nonBroadcast	SSID 非通知の無線 LAN への接続
true	接続する
false	接続しない
connectionType	接続タイプ
ESS	アクセスポイントに接続
IBSS	アドホック接続
connectionMode	自動接続 か 手動接続 のフラグ
auto	自動接続
manual	手動接続
MSM	
security	
authEncryption	
authentication	セキュリティ方式
WPA2	WPA2-EAP
WPA2PSK	WPA2-PSK
open	WEP、暗号化なし
encryption	暗号化方式
AES	AES
WEP	WEP
none	暗号化なし
useOneX	IEEE802.1X 使用のフラグ
true	IEEE802.1X を使う
false	IEEE802.1X を使わない
sharedKey	
keyType	暗号キーの種類
passPhrase	ASCII コード
networkKey	16進数
protected	暗号キーを暗号化するかのフラグ
false	固定。変更しないでください。
keyMaterial	暗号キー
keyIndex	WEP を使用する場合のキー番号
0~3	キー番号
※作成される wlancfg.xml には無いタグです。 必要な場合は、追加してください。	

以上でパッケージを編集できました。
このパッケージでインストールします。
右記「Step3 ドライバーをインストールする」へお進みください。

Step3 端末を設定する

- 1 編集したパッケージ「INSTPKG」フォルダーをインストールするパソコンにコピーする

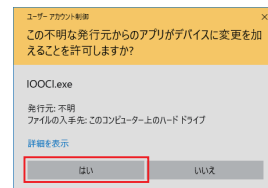
2



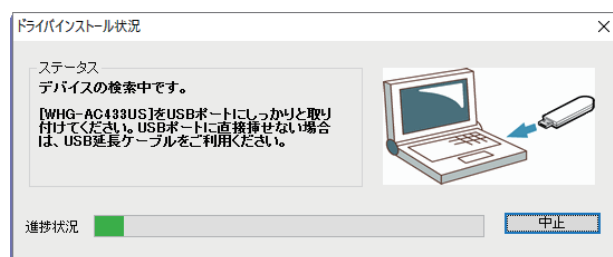
- 3 コピーしたフォルダー内の「IOOCL.EXE」を実行する

ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[はい]をクリックしてください。



- 4 ドライバーのインストール・設定を開始します
完了すると、画面は自動的に消えます。



インストール時に画面を表示しないように編集した場合
インストール完了時も含めて、画面を表示しません。

以上でインストールは完了です。